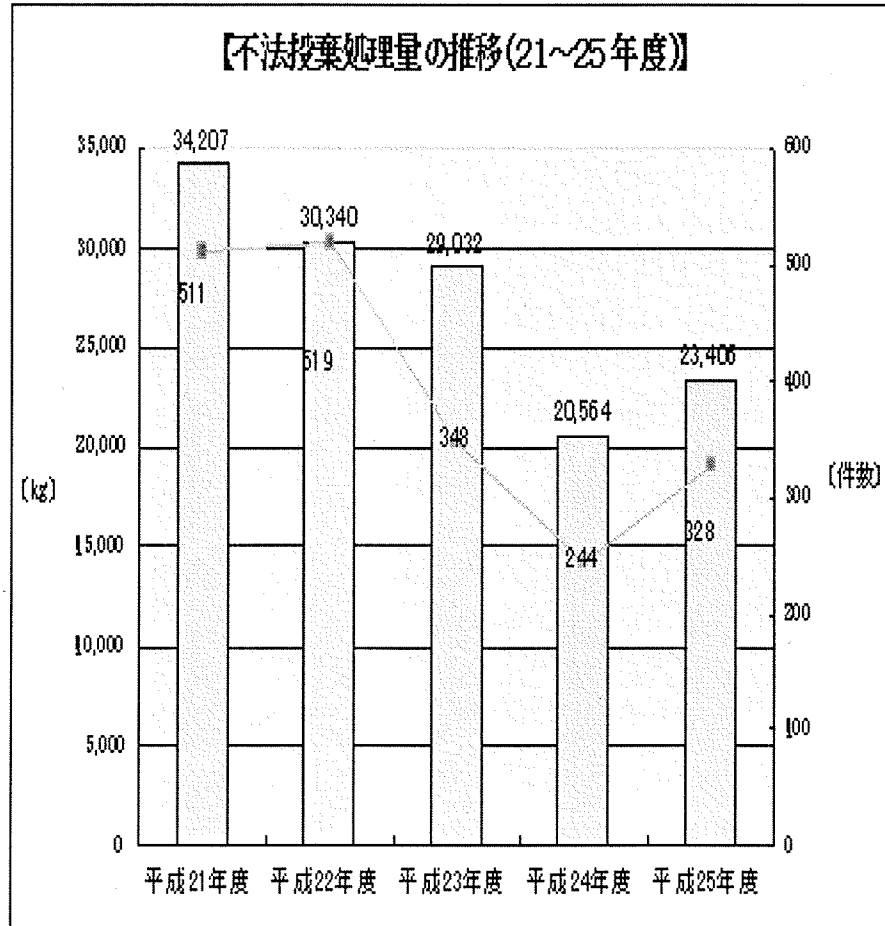


(1) 平成25年度不法投棄対策  
事業報告について

# 処理量推移



## 25年度不法投棄件数

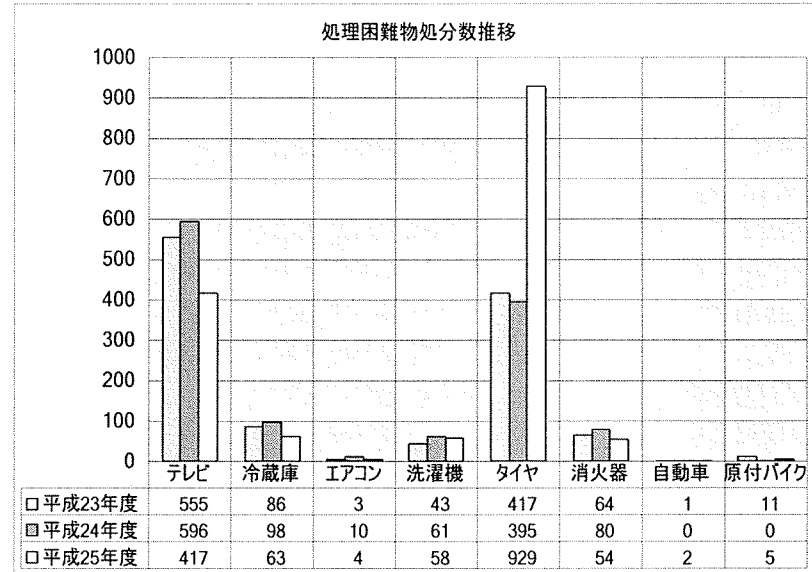
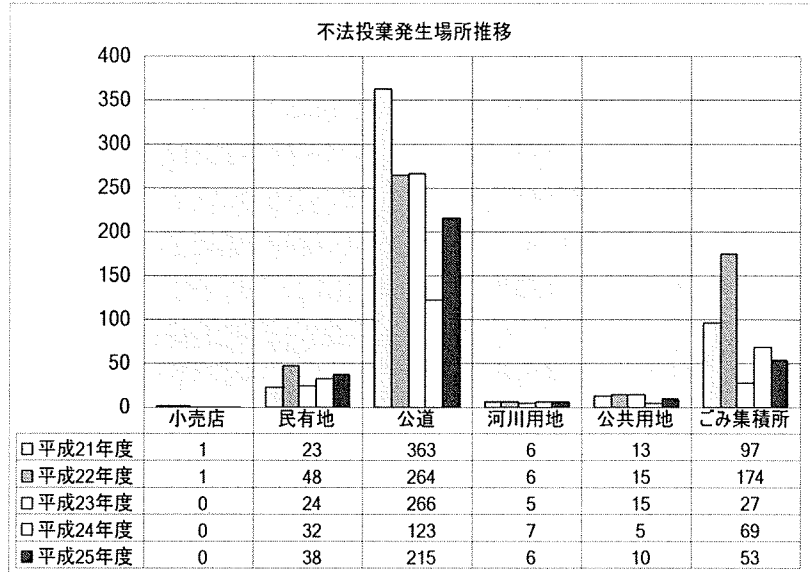
328件 (昨年対比+84)

23,406kg( " +2,842)

### 【要因】

テレビ, 冷蔵庫, 洗濯機といった家電リサイクル法対象廃棄物の不法投棄が多いことに加え, タイヤなど処分に手間と費用を要する処理困難物の不法投棄が増加したことから, 全体の処理量が増加

# 発生箇所・品目推移



## 【傾向と推移】

- ・例年と変わらず、公道及びごみ集積所への不法投棄が多くみられる
- ・テレビ、冷蔵庫、タイヤの不法投棄数が多い

## 【要因と対策】

- ・民有地においては、不法投棄再発防止策の実施を回収の条件とする  
(例: 啓発看板の設置, 柵の設置等)
- ・25年度より不法投棄防止カメラを3台増設し、公道における不法投棄減少に着手  
※なお、建築廃材による大型不法投棄は発見されていない。
- ・タイヤ、テレビ等は処分に手間と費用がかかるため、例年不法投棄数が増える傾向にある。

# 発生ケース1



## 【経緯】

船戸970番地先において、カーペット・布団類の不法投棄を職員が発見

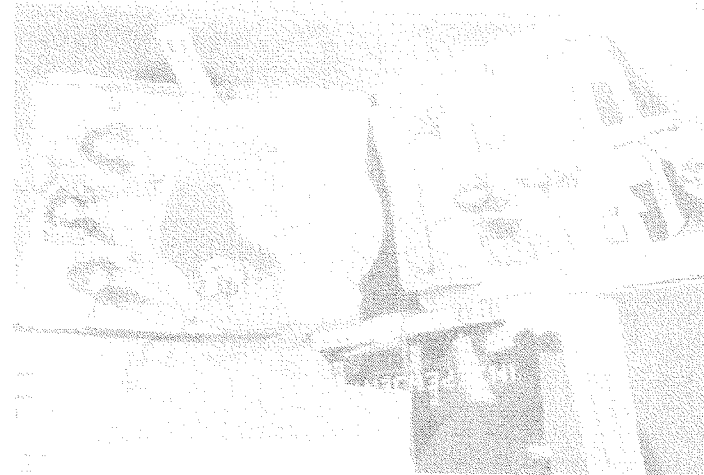
## 【対応】

投棄物には、民間企業の労働者名簿が含まれており、行為者特定の可能性があることから産業廃棄物対策課へ協力依頼。

該当企業とコンタクトをとり、元従業員による行為と判明したため、違反者に対し廃棄物の撤去及び適正処理を行わせた。

※なお、対応方法については千葉県警と協議を実施した上で決定し、違反者に対しては「廃棄物処理指導事項票」の交付を実施。

## 発生ケース2



### 【経緯】

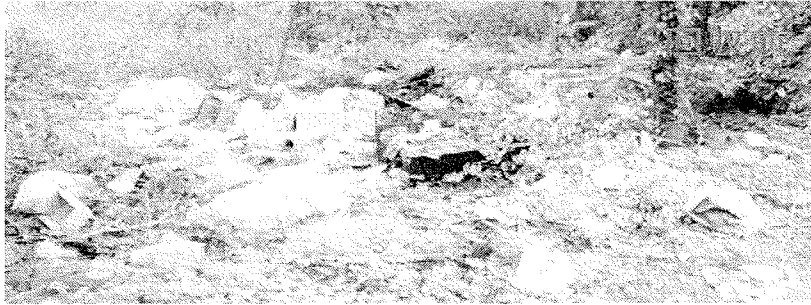
藤心914-1地先付近において、雑誌類及び履歴書の不法投棄を柏市美化サポーターが発見

### 【対応】

排出者特定に繋がる可能性があることから、産業廃棄物対策課と情報共有を行い、履歴書記載の連絡先へ架電。

履歴書記載の本人に事情を確認したところ、古紙処分業者に雑誌類を出した経緯があると認められるが、月日が経過していることもあり処分業者名の判明には至らなかった。よって該当ごみ及び履歴書は市が適正処分を行った。

## 発生ケース3



### 【経緯】

手賀1524-1地先において、公道上にぽい捨てごみが散乱していると市民から通報

### 【対応】

該当箇所において、30m以上にわたりぽい捨てごみ(テレビ)が捨てられていたため、環境サービス課特別班により回収作業を実施。

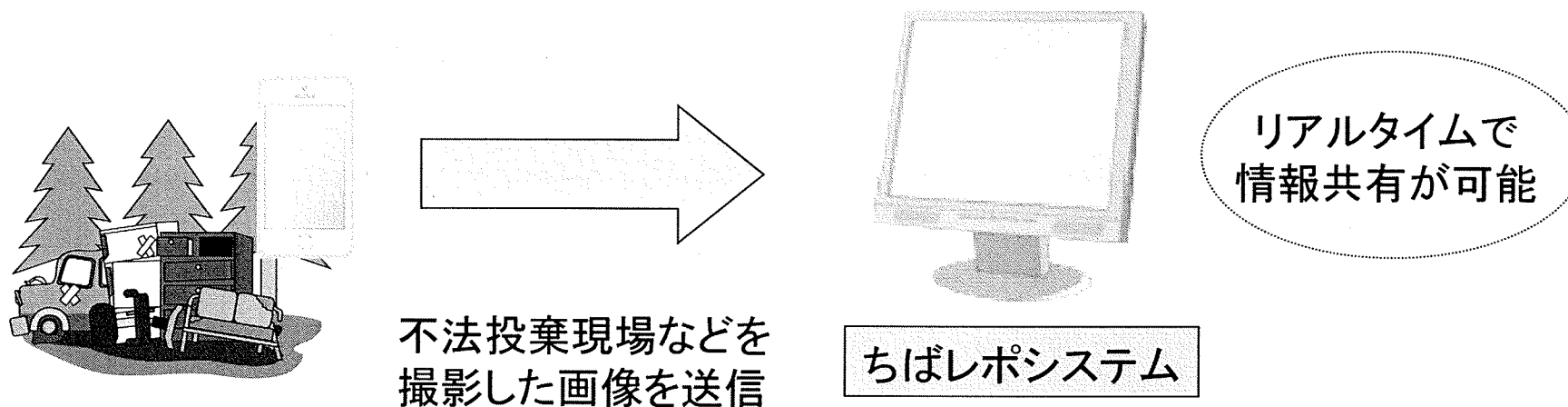
### 【事後対策】

回収後、ぽい捨て防止看板を設置し再発防止策を講じた。

# 他市対策例 ～ちば市民協働レポート実証実験～

## 【概要】

地域の課題について市民からスマートフォン等により位置情報付写真レポートを送ってもらい、Web上で市民と市役所が情報を共有して課題に取り組むとともに、市民と市役所が協働して解決することを目指すもの。



## 【効果】

まちづくり参画への意識醸成促進，迅速かつ効率的な解決策等の情報共有，市民協働の推進，行政の業務効率の改善などが期待される。